

生徒が作る体育祭

都立五日市高校定時制



宅配便障害物リレーでダンボールを持って走るアンカーの生徒

あきる野市の都立五日市高校定時制（松崎真理子校長）は2日、

体育祭を同校体育館で開いた。コロナ禍では競技数や時間などを縮

小していたため、4年ぶりの通常開催となった。生徒19人が参加した。

1～4年の各クラスから選ばれた2人の体育祭委員が4月から週1回集まり、当日の流れや競技内容などを企画。小峰暖菜委員長（4年）は「最後の体育祭を、皆が全力で楽しめるよう頑張って企画しました」と話した。

種目はドリブル競争や段ボールを運ぶ宅配便障害物リレー、ミニバレーボールなど。互いに声を掛け合い、和気あいあいと競技を楽しんだ。

松崎校長は「少人数だが、行事もしっかり実施している。自発的な行動を大切にしており、勉強も行事も皆一生懸命に取り組んでいます」と話した。